広報 さざ

5月（60号）

佐々町民憲章

健康で明るい家庭をつくりましょう

町の人口

【昭和56年3月31日現在】

総人口	11,645人
男5,529人	女6,116人
世帯数	3,328戸
出生 14人	死亡 12人
転入 94人	転出155人

町制40歳を祝う記念式典

憲章・町歌も発表

四月十一日、午前十時から町民体育館で、長崎県知事代理県北振興局長外、町内外の来賓をはじめ、町民代表ら五百五十余名を招いて、「佐々町制施行四十周年記念式典」を盛大に催しました。

菊本町長は、あいさつの中で「炭鉱閉山で人口は激減し過疎化の道をたどったが、町民一体となった協力のおかげで町勢は生気を取り戻すつつある。これからも調和を図りながら総合的に考え、また町民相互の交流を図りながら、誰でも住みたくなる町を目指してまい進しよう」と述べました。

町内町外５００余名の参列の中で菊本町長の式辞（町民体育館）

引き続き町政功労者ら三十六人に表彰状や感謝状を贈りました。

また「町民憲章」、「町歌」を発表。町歌は、佐々中学校コーラス部員が初披露。それから池田栄一郎君（佐々小六年＝野寄）と、山口文子さん（口石小六年＝口石）の二人が作文を朗読（別記）し、大きな拍手を浴びました。

そのほか、四十周年記念式典に花を添えるべく文化協会による謡曲、詩吟、おどり等を披露されるなど盛会のうちに終了しました。

なお、四月十二日は、町制施行四十周年記念「町民大運動会」を盛大に開催しました。

町政功労など36名を表彰

町政四十周年の記念式にあたり、町政功労、産業功労、教育功労、社会教育功労、文化功労、体育功労、民生功労、衛生功労、福祉功労、交通安全功労、人命救助、善行者感謝状授与等三十六名の方へ、菊本町長から表彰状が手渡され、そのご功績を讃えました。表彰された方の氏名と功績は次のとおりです。（敬称略）

「町政功労」＝岡本末幸、林鶴雄、福田喜逸、弓井寅雄、野村夏一、田嶋実、「産業功労」＝御厨成宏、北村正己、松瀬定美、辻勝己、「教育功労」＝中村虎男、「社会教育功労」＝久家ミチ、志水善三原田耕治、「文化功労」＝宮原九一郎、「体育功労」＝川村久米吉、堤教一、中倉喜代香、「民生功労」＝大瀬作市福田伝一、「衛生功労」＝秋月誠、下田福男、「福祉功労」＝近藤原理、「交通安全功労」＝宮崎栄、松田栄一、寺崎登、「人命救助」＝福田年久、藤田初恵、福田瀧平、有田末美、力武康子、「善行者」＝平田チエ子、本田美枝、「感謝状授与」＝▽郷土史料寄附△横尾辰雄、▽母校口石小へ多額の図書寄附△大木正義、▽町歌入選作詞者△山口照代。

東光寺で「自治功労物故者慰霊祭」も行なわれました。

～～～町民運動会も盛大にひらく～～～

老人のロマンス旅行

場内いっぱいに繰り広げた婦人の踊り

町内会の決勝リレー

中学生の騎馬戦

婦人の百足競走

小学低学年の玉入れ

小学高学年による佐々音頭

町内会の南北つなひき

交通即死事故非常事態宣言

宣言

正しい交通秩序の確立と交通事故の絶滅は、町民の切実な願いであります。

最近、長崎県内においては飲酒運転等により悲惨な事故が多発しており、交通非常事態宣言という大きな社会問題となっている。我々は飲酒運転及び暴走運転による交通事故の悲惨さに鑑み町民相互の友愛と協力により率先して飲酒運転及び暴走運転を防止し正しい交通規則を守り、全町民一丸となって、交通違反、暴走運転追放運動を展開する必要がある。

よって本町議会は、関係機関及び職域、地域の一層の理解と協力のもとに町民とともに交通事故のない明るい社会の実現を期するものである。

右決議する。

昭和五十六年三月四日　長崎県佐々町議会

週あたり平均の三倍増

〝黄金週間と天国週間は紙一重〟といわれています。それほど交通事故による死亡者は、「週あたり平均の三倍増」が、ゴールデンウィークから、その前後に集中するのです。

楽しいはずのせっかくの家庭ドライブが、〝天国への旅立ち〟に終わったら——そうです。ハンドルを握る人はくれぐれもご用心を……。

ぼく交通事故がこわい

ぼくは、テレビのニュースで酒酔い運転や暴走運転の事故を見るたびに悲しくなります。

運転手さん！ぼくたちも注意するので、一人一人が気をつけて安全運転をしてください。

つい一杯が即死事故

「まさか刑務所に……」

妻と子と三人、ささやかながら幸せだった家庭も、今は遠い夢のようです。

それにしても

あのときのあの一杯が！

※他県の事例ですが、こうした話にならないように注意したいものですね……。

交通安全？めずらしくもない聞きなれたことば……だが交通事故ほど恐ろしく悲惨なものはない。

一瞬で子を泣かせ

親を泣かせ

家族をどん底に陥れるこの悲劇を、どこかで断ち切らねばならない。

相手を殺し、

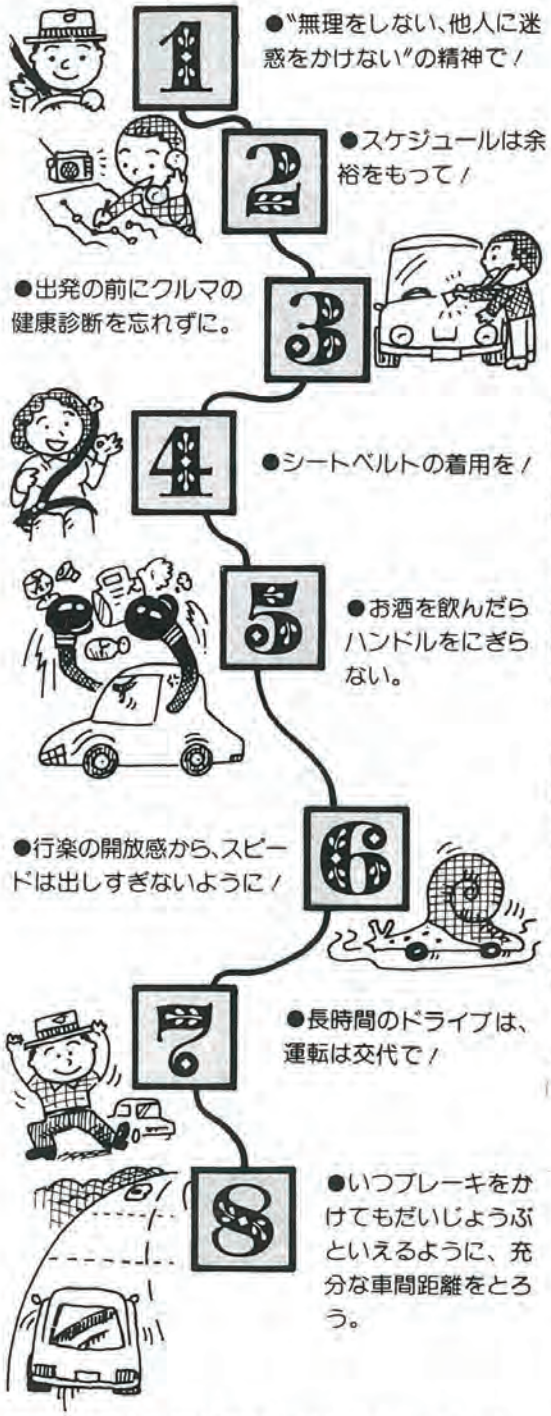
自分も犠牲……

交通事故絶滅は、町民一万一万七百余の全員が交通ルールを励行し自分自身を守ることである。

ひとごとではない一つしかない命を大切に

行楽シーズンを安全に

ドライバーの皆さん、次の８つの事項を守り、ドライブの安全を心がけましょう。



行楽にはできるだけ電車やバスを利用しましょう。

働きながら学ぶ

職訓生の修了式 入校式

四月六日、佐々町技能訓練センター（北松建設協同高等職業訓練校校長松下広氏）では、技能修得の場として、毎年後継技能者を育成されていますが、ことしも第五回目の修了者十七名（技能士補、資格合格者四人含む）を送り、引き続き第七回目の入校生二十三名を迎え、入校式を行いました。

（写真は、修了証書を手渡す松下校長）

大時計を寄贈

佐々町誘致企業連絡協議会（九社代表中村一夫氏）では、先に行なわれた町制施行四十周年記念を契機に大時計を寄贈され、役場庁舎前に取りつけることになりました。

なお、関係企業へ厚くお礼を申しあげます。

教職員の異動

佐々町教育委員会

四月一日付で、町内の小中学校の教職員人事異動が発令され、次の方がご栄転、ご退職、新補等で異動されました。

（敬称略）

転　入

【佐々小】校長＝小松安政（世知原小）、教諭＝中野増信（小佐々小）、養護教諭＝有浦由美（小値賀町立野崎中）

新　補

教諭＝森田重樹（駒沢大）、小島克明（福岡大）、中山由有子（長大教）

【口石小】教諭＝福永タマエ（松浦市立調川小）、笠継典子（平戸市立志々岐小早福分校）、国武恵子（楠栖小）

教諭＝都市賢典（福岡大）、吉永笛美（長大教）

【佐々中】教諭＝吉本剛（田平中）、長嶺浩（清水中）、磯本峯子（福島中）

新　補

教頭＝島啓祐（崎山中）、教諭＝仁科美也子（横浜国立大）

転　出

【佐々小】教諭＝森謙二郎（鹿町小）、濱村修市（新魚目町立津和崎小）

退　職

校長＝貞松馨（佐世保教育事務所指導主事）、養護教諭＝松下ミヨノ

【口石小】教諭＝甲山弘子（吉井町立南小）、西村義信（佐世保市立相浦小）、田口春美（小佐々小）

退　職

教諭＝十時ツキエ、西浦昭子

【佐々中】教諭＝豊村堅太郎（鹿町中）、森田正徳（川棚中）、日高治義（田平中）

福島誠（小値賀中大島分校）

松永宏子（福石中）

退　職

教頭＝穴吹俊克（佐々町勤青ホーム指導員）

町職員人事異動

4月1日付

氏名	異動後	異動前
大瀬康政	総務課長補佐	企画室長補佐 兼企画調整係長
野田八郎	企画室長補佐 兼企画調整係長	総務課長補佐 兼財務係長
野田龍夫	総務課長補佐 兼財務係長	総務課長補佐 兼総務係長
松田喜政	総務課総務係長	総務課管財係長
古永剛男	〃 管財係長	税務課主査
松田庄海	〃 財務係	住民福祉課
大安昭一	税務課徴収係	水道課
山田文彦	〃 賦課係	議会事務局
三瀬弘美	水道課業務係	農業委員会
田本忠夫	議会事務局	税務課
大好雄	農業委員会	総務課
松島一	住民福祉課国保係	診療所
中浦弘	総務課戸籍係	新採用
松本亘	〃 総務係	〃
浜野治	水道課施設係	〃
中村義	教育委員会	〃
	診療所	〃
木原龍文	県地方課へ研修派遣	総務課
3月1日付		
前田文江	診療所（看護婦）	新採用

5月5日は子どもの日

親と子の信頼関係

心のきずなを より強く育てよう

お田さんを主題にした作文コンクールで、ある小学生が

「うちのお田さんは、たいへんおもしろい人で、わたしがさか立ちをすると、パンツ丸見えにして、いっしょにさか立ちをしてくれます。」

と書いているのを見て、思わず笑ってしまいました。そして「あっ、きっとすばらしい親子だろうなあ」

と感じました。

明るい笑い声のはずむ家庭で心やさしいお田さんが、のびのびと子どもを育てている姿が、ありありと浮かんできたからです。そして、このお田さんには子どもがいつでも安心して身をまかせられる〝心の基地〟があると思いました。

これから、二十一世紀という難しい時代に羽ばたこうとする子どもに必要なのは「自主性」と「おもいやり」の心を持てることだと思っています。

「うちの子どもはいたずらばっかりで……」と、よく耳にします。でも、子どものいたずらは、自主性の発達には、不可欠のものだと考えていただきたいのです。

とりわけ、三歳までのいたずらは無邪気で、自主性を育てるには、たいへん重要な時期なのです。

このころに、おとなしい子どもに育てようとして、やたらと叱るお田さんがいます。しかし、それは、いたずらを通してはぐくまれる大切な創造性の芽を親がつぶしてしまうことになりかねません。

むしろ、〝おとなしい子には育てない〟という寛容な気持ちでいた方が、子どもはのびのびと育ち、小学生になってからも、多くの友だちと積極的に遊べる自主的な精神を養えるのです。

しかし、近ごろは、親が自分本位の考えや、しつけの鋳型に、子どもを知らず知らずのうちにはめこんでしまっている場合が多い。思春期以後になって登校拒否をしたり、ノイローゼがこうじたり、心身症になったりする子どもたちの多くは、親の身勝手なしつけが先行したケースといえましょう。

「それでは、しつけは無用なのか」

といわれるかもしれません。

子どもにとって親とは……

安心できる〝心の基地〟

大妻女子大学教授
医学博士
平井　信義

もちろん、しつけは必要です。しかし、しつけを急いで体罰を与えるようなことはしないでほしいと願っています。

それよりも「子どもは親の後ろ姿を見ながら、無言のしつけを学びとっていく」ということをかみしめていただきたい。子どもに口やかましくいうまえに、親自身にしつけができているかどうかの反省が必要だといえましょう。

小さいころから「しつけ、しつけ」で教えこまれると、外面的にはきちっとしたように見える子どもにはなりますが、無気力で自主性のない子どもになりがちです。

「思いやり」のあるお田さんは、子どもの気持ちをちゃんとつかんで、子どもの立場にたって考えます。叱るときも、〝そんなことをすると、いろんな人が迷惑するし、お田さんも困るのよ〟と訴える方が効果があることを知っています。子どもはお田さんの気持ちをくんで、一度と同じいたずらはしないものです。

それは、親と子の信頼に基づいたすばらしい情緒的関係ができている場合です。

お田さんの気持ちを思いやれるということは、「心の基地」を持つ子どもに、りっぱに育っている証拠といえましょう。

しつけもだいじなことですが、不安なとき、困ったとき、つらいとき、悪い心が起きたとき――子どもたちが「錨をおろす港」となれる、そんな親と子の関係でありたいと思います。

（談）

事業所統計調査――七月一日に実施

調査にご協力を

昨年行われた国勢調査とならんで国の最も基本的な統計調査である「事業所統計調査」が七月一日、全国いっせいに行われます。

この調査は、昭和二十二年にスタートし、以後三年ごとに行われているもので、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を全国ならびに地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国、都道府県、市町村の行政や経済施策をはじめ、民間では事業計画を立てる際の基礎資料として利用されます。

調査の対象となるのは、会社、工場、商店、病院、学校のほか、官公庁、国鉄・私鉄の駅、ホテル・旅館や神社、お寺にいたるまで、農林漁家を除く全国約六百三十万の事業所です。

この調査は、次の三つの種類に分けて行われます。

〔甲調査〕

民間経営の事業所が対象です。調査事項は、事業所の名称、所在地、経営組織、事業の種類など九項目ですが、会社の本社事業所の場合はこの外に資本金額など四項目が加えられます。

〔乙調査〕

サービス業のうち物品賃貸業（レンタカー、貸しボート業など）、旅館その他の宿泊所、クリーニング・理容・浴場業、映画館・娯楽業、自動車整備業・駐車場業およびその他の修理業が対象で、調査事項は次の通りです。

名称、現金給与支給額、最近一年間の総売上高。

〔丙調査〕

国、地方公共団体及び公共企業体の事業所を対象に、事業所の名称、所在地、事業の種類、職員数の項目について調査します。

なお、調査の方法ですが「甲調査」と「乙調査」は都道府県知事から任命された調査員が、六月下旬からすべての事業所を訪問して調査票の記入を依頼し、七月中旬までに回収します。場合によっては、調査員が、直接聞き取り調査をすることもあります。

「丙調査」は、調査員によらず、国や地方公共団体および公共企業体の組織を通じて行われます。

ご協力をお願いします。

国保だより――その16――

あなたはどの健康保険ですか？

国保に加入することになります。加入の届けは法律で定められた、あなたのまず果たすべき義務です。国保は世帯主でも家族でも、一人一人が被保険者となります。ただし、国保では世帯ごとに加入することになっていますから世帯主が加入手続きを行うことになります。そして一世帯に一枚の保険証が交付されます。

二、加入届の遅れはあなた自身の損失です。

加入者の提出を怠るとあなた自身が困ることになります。病気になっても保険は効きませんので、時には何十万円もの医療費をすべて自分で支払わなければなりません。しかも、〔国保税〕は加入届を出していなかった期間の分についても支払うことになります。

また、世帯主の方は、自分の世帯に属する被保険者の資格に異動のあったとき（他の保険にはいったとき、他の保険をやめたとき、他の市町村へ転出したとき、転入したとき、子供が生まれたとき、家族の方が死亡したときなど）は十四日以内に届け出をしなければなりません。あなたはもう届け出はすみましたか。

◎暮しと結ぶあなたの国保

◎突然の病気であわてる未加入者

※国保テレビ番組のおしらせ

(1)テーマ
　一枚の保険証

(2)期間
　昭和五十六年四月十八日より昭和五十七年三月迄の間

(3)放映時間
　NBCテレビ毎週二回水曜日午前八時頃（テレビ列島七時のCMタイム時）、土曜日午前七時五十七分頃（天気予報のあと）いずれも六十秒スポット。

招魂祭開く

4月3日午前10時から、佐々町恒例の招魂祭が三柱神社で行われました。この招魂祭は、本町出身の戦没者の霊を慰めるために毎年の同日行われているものです。

この日は、例年にない好天に恵まれ、然も春風に散る満開の花びらの中に、内外の有志と多数のご遺族の参集の中厳しゅくに盛大に式典が行われました。

このあと、アトラクションに移り、陸上自衛隊相浦音楽隊による演奏会になると、参列された皆さんの顔もほころび、楽隊の演奏を聴きながら苦しかった時を忘れようと、また戦没者を偲ぼうとされてか、お酒も混じって賑かな一日となりました。

写真は「上」慰霊のことばをのべる菊本町長「下」318柱の遺族と参集された皆さん。

社会福祉法人

さざなみ保育園が開園

四月十八日、社会福祉法人さざなみ福祉会「さざなみ保育園」（理事長大長広義氏）の新築落成の神事が現地で行なわれ、引き続き古川公民館で式を催されました。

同園は、敷地面積六五二・五〇㎡、鉄筋コンクリート造り平家建、暖房設備付、床面積二八二・〇二㎡、収容人員四五名で、総事業費四、九七一万三千円（各種事業補助金のほか佐々町補助金として四七二万六千円）です。

菊本町長は「さざなみ福祉会の設立から保育園の建設、運営に至り、微力ではありますが、今後とも最善の努力をしたい。」と祝辞を述べられた。

このあと、同園の園児代表から菊本町長、理事長の大長さんへ花束が手渡されるなど盛会裡に終了しました。

失火お礼

このたび、私方の失火につき、町内の皆さまには大変ご迷惑ご心配をおかけいたし、誠に申し訳けない次第です。

また、いち早き消火活動ならびに皆さまのご尽力によりご近隣への類焼をまぬがれ得ましたことは、不幸中の幸いとなぐさめております。

いずれにせよ、お騒がせしまして、慙愧にたえません。

今後は十分火気に注意する所存でございます。

いちいち参上のうえお礼申しあげるべきでございますが紙面をもってお礼申し上げます。

佐々町皆瀬免八七八　中村　鶴男　幸子

町長おもな日誌

【三月】

27日　第一保育所卒業式、熊本農政局構造改善課長外健康センター検査来町

28日　県民植樹祭（平戸）第二保育所卒園式　所園

29日　第五分団詰所新築落成式

30日　県林業公社役員会（長崎）

31日　県職員共済組合会議（長崎）

【四月】

1日　上水道特別委員会

2日　総務委員会、運転者講習会、春まつり代表者打合会

3日　町内戦没者慰霊祭

4日　第一保育所入所式、さざなみ保育園入園式

5日　神田金比羅神社祭礼、森ノ木園芸管理室落成式

6日　国保連合会常務理事及局長就任のため（長崎）

7日　北松南部清掃一部事務組合総会（鹿町）

8日　市瀬慰霊祭、佐々小学校入学式

9日　観光協会役員会（商工会）（代理助役）

10日　臨時町議会

11日　元町三役、職員、議員物故者慰霊祭、町制四十周年記念式（町民体育館）

佐々町社協だより
（でんわ②2655）

寄付金のお礼

◎香典返しとして
◉故小野　寿殿
　木場　小野　孝司殿
◉故高瀬　豊喜殿
　志方　高瀬　留吉殿
◉故中尾　信一殿
　神田　中尾　タケ殿
◉故力竹　弥重郎殿
　浜迎　力竹　邦男殿
◉故山内　武八殿
　四井樋　山内　安雄殿
◉故淡田　實殿
　口石　淡田　フサエ殿

◎あけぼの荘慰問の折
　新町　西村舞踊会殿

◎町民運動会の折
　木場　青友会殿

◎寄贈　車椅子　一台
　松瀬　野中　シズエ殿

以上の方々から、ご寄付を戴きました。紙面をもって厚くお礼を申し上げます。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長　菊本　春夫

新入学児童へ黄色い帽子贈呈

心配ごと相談

○毎週水曜日　午後一時～（ただし当日祭日の場合は翌日）

献血功労者七人を表彰

献血は皆さまの暖かい善意によってささえられています。より一層のご協力をお願いします。

さて、今回つぎの方々が献血十回以上で、日本赤十字社より表彰されましたので紹介します。

【敬称略】

○ところ　老人福祉センター
阿曽孝一（市瀬）、大濱公（土手迎）、中原信之（若佐）
森朝子（松瀬）、古庄剛（里）
百武滋（沖田）、森田妙子（口石）

新入学児童へ黄色い帽子贈呈

四月八日、新入学一年生の入学式において、佐々小学校では、会長菊本町長より、口石小学校では、理事小崎政太郎氏より、児童の事故防止対策として、黄色い帽子（校章マーク入り）二三七個を贈呈しました。

あけぼの荘だより

五月もよおしもの

◎おどりの日　毎週金、日曜日　午後一時から三時半まで

△詩吟のけいこ　第一、三水曜日　正午から三時半まで

休館のお知らせ

毎週月曜日　三、四、五日はお休みです。

日赤社員募集のお願い

日本赤十字の事業推進につきましてはかねてから皆さま方の深いご理解と温いご協力に支えられ順調な歩みを続けております。

昭和五十六年度の事業につきましても長崎原爆病院の新築工事、献血に対する啓発と血液センターの整備など諸種の事業が計画されております。本年度もこれらの事業推進のため日赤社員募集をお願いいたしたく、何かと出費ご多端の折柄、誠に恐縮に存じますが、趣旨ご賛同いただきご加入下さいますようお願い申し上げます。

①日赤一般社員　三〇〇円
②〃〃特別社員　一〇〇〇円
③募集期間　五月一日から五月末日まで

12日　町制四十周年記念町民運動会
13日　佐々幼稚園入園式、北松支部美容組合総会、明生大学開講式
14日　在庁
15日　交通安全旬間最終日町内広報
16日　塵芥処理小委員会、農協生産組合支部長会
17日　国保連合会役員会（長崎）
18日　さざなみ保育園落成式
19日　母子家庭小中新入学者激励会、故中山藤雄（町議）告別式
20日　在庁
21日　町老人クラブ連合会主催ゲートボール大会
22日　健康管理センター落成式
23日　松浦線存続期成会世話人会（田平）
24日　町和牛部会及町和牛改良組合総会
25日　県庁保健部長と協議（長崎）、県医師会館落成式、文化協会総会
26日　町軍恩組合支部総会
27日　県森林組合連合会役員会（長崎）、佐々・吉井・小佐々三ヵ町塵芥処理組合より小浜・川棚両町新設塵芥処理施設視察（小浜町）
28日　佐々町町内会々長会
29日　北松南部地区婦人ペーゼント（江迎）
30日　県地区衛生組織組合会理事会及び総会（長崎）

町内会発足

本町は、北松、平戸、松浦を期して変更するものであります。

従って、四月十二日から「町内会」（例えば古川町内会に）として、改めて発足（呼称）しますので、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

の玄関口として、農村地域から、佐世保市のベッドタウンにより年々住宅が建ち、都市化が進みつつあるため、多数の町民の方々より都市のように、町内会に変更した方がよいという御意見がありましたので、町制施行四〇周年記念

おめでた　おくやみ

ご結婚おめでとう

（氏名）　（町内会）

夫　富永　博文　野寄
妻　白川　恵子
夫　久保田一幸　松瀬
妻　岡本百合子
夫　前田　忠彦　市瀬
妻　山田　洋子

お誕生おめでとう

父の名　母の名　続柄　出生児名　町内会

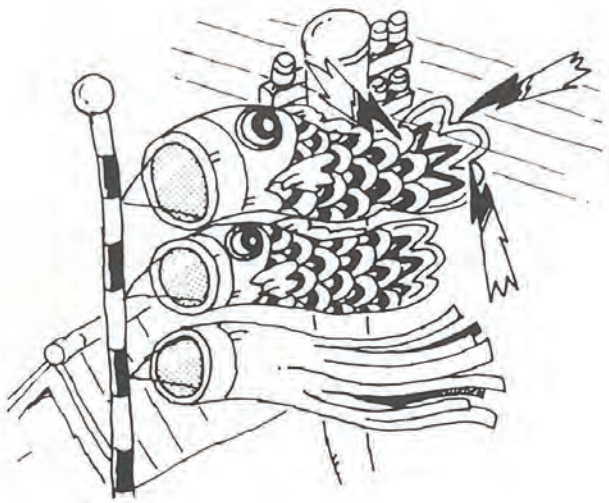
夫　林　善一　角山
妻　山口　郁子
夫　藤田　康夫　真申
妻　上田　和恵
夫　川上　一郎　四ツ井樋
妻　藤田　純子
夫　政和　江里
妻　智　大茂
夫　村上　キサ　神田
妻　久部　幸吉
夫　淡川　郷美　芳ノ浦
妻　永尾　達郎
夫　糸川　隆行　市瀬
妻　松本　博美
夫　大畑　シマ　野寄
妻

ご冥福を祈ります

（氏名）　（年令）　（町内会）
（四月十五日現在）

町内会長です。よろしく

町内会名	氏名	電話	町内会名	氏名	電話
古川	土手口文雄	②2462	芳浦	竹久韶夫	②2038
志方	鴨川美六	③3539	浜迎	近藤俊男	③3046
中央通	松尾幸雄	②2458 ②6212	水道	吉野茂	③3054
里	永田隆一	③2510	土手迎	林鶴雄	③3070
里鉄道	梁井並二	②6231	四ツ井樋	藤田正人	②6511
里山	髙橋庄一	②2521	真申	田原一一	佐世保 ㊽3811
野寄	吉永進	③3473	市瀬	村川一雄	③3353
栗林	野中昭博	③3453	鴨川	松下広	②2033
角山	富永正夫	③3425	松瀬	内野政敏	②2749
口石	藤永猪三	③2007	鷲尾	佐藤誠一郎	③3647
新町	井上永男	②3644	江里	北川公	③3323
木場	和田金一	③2809	大茂	大久保忠義	③3514
牟田原	前田儀一郎	③2704	神田	吉永政義	③3271
東町	平山大	②2704	若佐	木戸章	②3583
西町	川村久米吉	②3540	沖田	島田正年	③3577



鯉のぼりが電線にふれないよう
ご注意ください

郷土史料館より

資料館が開館されて一年半になりました。有志の方の協力によって、佐々に居住した祖先の生活用品、美術品が見ごたえある数量になりました。五十六年になって次の主なものを陳列しましたので御覧下さい。

○　日本刀、肥前国藤原正広作（初代作品）新刀

寄贈者「県北タイムス」主幹の横尾辰雄氏、戦前東條英機元首相が若い時、満州の憲兵隊長時代に使用していたもの。

○　日本刀　備前長船七兵衛作、この刀は刀身が折れたので、中途からの改造品、提供者は木場の吉岡新一氏

○　非常用の稗（備荒食）これは吉岡氏が、古い家屋を解いた時に天井裏で発見したもの。約百十年前のものである。当時の農家の心構えがうかがわれる。

この稗については、宮原九一郎氏に播種してもらいその生育を見届けるよう頼んでいます。

○　明治初期の古銭、鉄の鎧陣八、十手、弓、火縄銃、古伊万里の大皿、その他、いこい食堂の北村昌幸氏が貴重な品物を提供されました。

○　図書、松浦藩史考　里の永田隆一氏、古いもので価値ある図書です。

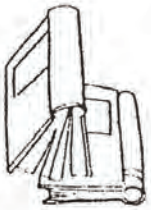
図書室より

開室以来、新しい図書が約三〇〇冊購入され、また県の巡回図書が毎月一〇〇冊、図書棚にあります。利用者は月延べ二五〇冊ぐらいですが、もっと利用して下さい。

そのほか有志の方より約二〇〇冊の図書（主に小説）があります。

寄贈者は…【敬称略】

石川常夫（東町）、猪八重英二（市瀬）、福村豊（野寄）、岡崎亮子（里山）、清原文雄（口石）



随筆郷土誌 (81)

宮原九一郎

大正時代の佐々(31)

炭　鉱（その六）

炭鉱の坑道は掘って進むに従い必ず水が出る。水平坑ならば水は一人で坑外へ流れて出るが、斜坑の場は奥の方に水が溜るので、機械力のなかった時代には、手動のポンプを何段階にも据えたりして随分苦労したらしい。

古川の吉富英一（宮本薬局の先祖）の経営した志方の太田ヤマ（ヤマは炭鉱のことであり当時は炭鉱とは言わなかった）では、明治十五年にボイラーを据え付け、蒸気機関の排水ポンプや巻上げ機を使用したと言うが、これは北松炭田に於ける蒸気機関の第一号だと伝えられている。

小浦方面を皮切りに佐々に初めて電灯が灯ったのは、六十五年前の大正五年であり、仝十二年に佐々変電所が出来てやっと動力線が引込めるようになったのだから、それまでは機械と言えば蒸気機関であり、蒸気機関を使用する為にはボイラーが必要であった。

大正六年から仝十年まで志方にあった三菱経営の佐々浦炭鉱は、直径七尺（約二・一メートル）のボイラー二本を据付けていた。厚い鉄板の二重張りで長さは恐らく八メートル位あったから相当の重量であったと思う。船で運んで来たボイラーを、炭鉱の現地まで運ぶのは実に大変な作業であった。

吉井方面の炭鉱に使用するボイラーであったと思うが、三・八メートルの巾しかない当時の古川の道を、人間以外は通行禁止としてボイラーを運ぶのを見た記憶もある。現代の感覚から見れば、実にのんびりした話である。

機を大勢の人間で廻し、コロ木を敷いたボイラーをそろりそろりとワイヤーで引っ張って進めた。一日の行程は二百メートルか三百メートル位であっただろう。

口石小サッカー少年団 長崎県大会 準決勝で敗る

三月二十二日、長崎県少年サッカー大会が長崎市営松山サッカー場で行なわれ、予選を勝ち抜いた十六校に口石小サッカー少年団が堂々準決勝まで進出したという朗報がありました。

同日は、折りからの降雨の中で試合は強行され、文字どおりの泥んこゲームとなったものの、強豪チームを相手によく善戦し、惜しくも2対0で決勝進出ならず涙をのんだ。

しかし、初出場で、ここまでやれたことは、選手に大きな自信がついたであろうとの関係者の高い評価であります。

印紙税の税額がかわります

印紙税法が改正され、昭和五十六年五月一日から作成される契約書や受取書などの印紙税額が変ります。

いままで百円の印紙がかかっていた文書の印紙税額が二百円になるなど、印紙税の税額が二倍に引上げられました。

「具体的には印紙税額一覧表のようになります。」一覧表は役場又は平戸税務署にありますからおたずねください。

みなさんの苦情や要望を 行政改善の手立てに

みなさんの中には、ふだん役所や公社・公団などが行っている仕事について、苦情や要望、意見をお持ちの方もおられるでしょう。相談される方のお名前や相談の内容については秘密を守ります。お気軽にご相談ください。

佐々町行政相談委員
和田　正三
木場町内会（電話③2802）

産地から食卓まで

食料品の流通と価格安定対策 2

ごはんはパンやめんとともに、日本人の主食です。

食生活の上で一日たりとも欠かせない米が確実に、そして安定した価格でわたしたちの台所に届くようにすること——価格安定対策の眼目はこの点にあります。そこで国は、食糧管理法に基づき米の供給（流通と売り渡し量）と価格を直接管理しています。

米 食糧管理制度で 家計の負担をカバー

農家で生産された米が、わたしたちの台所に届くまでには二通りの流通経路があります。

この経路の違いによって、米は「政府米」と「自主流通米」の二つに分かれます。

〈政府米〉　米が不足したりすることがないよう、また、公平に分配するために、国が農家から買い上げて保管し、その出し入れを管理しているのが政府米です。

家庭で食べる配給米をはじめ、食堂、すし屋、旅館などに業務用として売られている標準価格米、徳用上米、徳用米などが主にこれに当たります。

さて、価格ですが、国が農家から買い入れる価格（生産者米価）と売り渡す価格（消費者米価）を決めるに当たり、生産者委員や消費者委員を含めた米価審議会にはかった上で、物価や家計に及ぼす影響などを考えて決められます。

ところで、米価の〝逆ザヤ〟という言葉をきかれたことがあるでしょう。

〝逆ザヤ〟——つまり政府は農家から買い入れる価格よりも安い値段で、消費者に配給しているのです。

こうした〝逆ザヤ〟がなぜ起こるかといいますと、生産者米価については農家の経営事情を考慮して決められ、一方、消費者米価はわたしたち消費者の家計の安定を重くみて決められるためです。

また、一般小売価格については消費者保護のたてまえから、「標準価格米」については一定の上限価格を設けて、国はその範囲内で販売されるように指導しています。

〈自主流通米〉　米の約六割は政府米ですが、残りの約四割は生産者から売り渡しの委託を受けた集荷団体と卸売販売業者の間で自主的に値段や数量の話し合いが行われ、国の認可を受けて配給ルートに乗って流通している米——これが自主流通米です。

この自主流通米制度は「値段は少々高くても、おいしい米を食べたい」という消費者のみなさんの要望で、昭和四十四年から始められたものです。自主流通米には、ササニシキやコシヒカリ、日本晴など消費者から味がよいと評価を受けている米が出回っています。

国は、自主流通米が安定した値段でわたしたちの台所に届くようにするため、管理や流通に関して助成金を交付するなど、価格の安定に努めています。

佐々小六年一組
池田栄一郎（野寄）

ぼく達の住む佐々町は、今日で四十歳になるのだそうで月日のたつのは、早いものだなあと思います。

佐々町のみなさん、四十歳の佐々町となり、おめでとうございます。

佐々町が、昔、佐々村と言っていたころの事は、よくわからないけれど、近くのお年よりに聞くと、なつかしそうに、「ああ、昔は、いろんな事があったなー、戦争がありわかい男の人々は、ほとんど戦地へしょうしゅうされて行った。戦死されたかた、またきづつき、手足をなくし、きゅうしに一生をえて、帰ってこられた、お父さん、お兄さんが、たくさんあった。帰ってこられたかたへの、よろこびとともに、きづついたかたへの、やさしい、いたわりと思いやりの気持ちを持って、みんなむかえたものだ。そのあと、この佐々村にも、たくさんの、炭鉱があり、一時はさかんだった。田畑へ行く道だって、今のような、立ぱな道などなかったし、自分の家に出来た野菜などを売りに行くのにも、かたにかついで行っていたものだ。村と言っていた時代には、今の子供らが知らないよさがあったなー。」と目をしょぼしょぼさせながら、話してくれたおじいさんの顔が、とてもいんしょうてきだった。

ぼくのおじいさんが、生きていたら、もっともっとくわしい佐々町の話しが聞けただろうになーと思う。

町制40周年をむかえて
――わたしたちは考える――

口石小六年
山口文子（口石）

わたしたちの学校は体力づくりをしています。三年前には、体育の研究発表がありました。それから、ずっとわたしたちは、体力づくりにはげんでいます。それで、今では各地から見学の先生方もみえるのを見て、わたしは、幼稚園の設備がよくなってよかったなあと思い、少々それがうらやましくなることもあります。

そして、町民体育館の建設が始められ、武道館や図書館千本運動公園、その年に、始めての町の文化祭が、町民体育館で開かれました。小学生も参加して、合唱をしたり、合奏をしたり、ダンスをしたりすることができるようになりました。

今では、佐々町と言うようになって四十年変れば変るものだ。

戦争もなくなり、平和になったと思うと、かわりにりっぱな道路が出来、交通戦争で地ごくのようだ。

村から町へ、町から今度は市へとうつり変って行くだろうが、ぼくたちは、交通安全にも気をつけ、みんなが助け合って明るく、すみよい町になるようにしようと思います。

わたしたちの町には佐々川があります。長崎県で一番長い佐々川は、人間にとって一番大切な水をわたしたちにきょう給してくれています。ふえ続ける町の人口に対しよして新しいじょうすいどうも完成しました。

わたしたちは、一年に一回佐々川の清そうをします。

春先には、白魚が泳ぎ、夏になると、あゆがこの川を泳ぎます。時々、川岸で白さぎがえさをあさっている様子を見かけたりします。こんな美しい佐々町の自然をこわさないようにするために、わたしたちも、進んでほうし作業などに出たら、佐々町の自然はもっと美しくなり、人々の心も、もっとやさしくなることでしょう。

佐々町は今年、四十周年を迎えます。炭鉱が閉山した後佐々町は、いろいろな企業をゆうちしました。商店街もにぎわってきました。空き地にはたくさんの団地がひろがっていきます。今、わたしは小学生。最後の学年を大切に過していきたいと思います。みんなで協力して、よい学級をつくり、よい学校をつくることができるように、友達とがんばっていきたいと思います。

て、全国に知られるようになりました。

わたしは、五才の時父の仕事の関係で、生月からこの佐々町にもどってきました。

そのころの幼稚園は、口石小学校の校舎の中にあって、まだ創立二年めだったので遊具も十分ではありませんでした。

その口石幼稚園が、今は、佐々幼稚園と一しょになり、大きな幼稚園になっています。

黄色いバスが道を走っていくとうてん

「親のヒザ」

「親のヒザの上に子どもが乗って、一緒に本を読んだり、お話しを聞いたり、また、ヒザをまくらに昼寝をしたり、ヒザは子どもにとって遊び道具であり、安らぎの場所なのです。」と大妻女子大学教授・平井先生は語っています。飛行機でも、電車でもどこかで点検整備という名の〝休息〟をとり、機械の調子を整えて次の運行にそなえます。ちょっと無茶な比較かもしれませんが、人間も同じようにどこかで〝点検〟――安らぎをえて次のステップにそなえるのですが、子どもにとってその〝安らぎ〟を与えてくれるのが親のヒザといえるそうです。

役場の電話は
2−2101です

5月のお知らせ

「働く人びとの職場体験記」募集

日本労働協会では、職場で働く人、技能訓練過程にある人の体験やそれに基づく意見を募集します。

○募集テーマ
①職場と私、②技能に生きる
※いずれか一つを選んで下さい。

○応募枚数　４００字詰原稿用紙４～６枚

○締 切 日　５月９日

○原稿送付先　東京都港区芝公園１－７－６

国税専門官募集（大学卒業程度）

◎受験資格　昭和29年4月2日～昭和35年４月１日生まれの者

◎受付期間　５月14日～22日

◎申 込 先　福岡国税局及び最寄りの税務署又は各大学の就職担当課

◎勤 務 先　国税局管内ほか、税務署となります。

老人クラブ連合会総会

と　き　５月15日(金)
９：00～

ところ　町民体育館

内　容●総会
●講演 姑･嫁･孫について

住宅金融公庫 個人向け融資受付

本年度第１回目の受付けを５月28日(木)まで行います。

◎受付日順で選考(無抽せん)により行います。

◎個人住宅建設資金、マンション購入資金、建売住宅購入資金その他割増し融資の制度もあります。

◎利率　年利５・５％

くわしくは住宅金融公庫業務取扱金融機関または住宅金融公庫福岡支所へお問い合せ下さい
(電話092－712－5555)

不用犬は……

毎月第１・３・５金曜日の午前中役場につれて来て下さい。

ゴミは……

必ず収集日に出して下さい。

不燃物は……

規定の袋に入れて出して下さい

へお母さん 忘れないでへ

１才６ヵ月児検診

と　き　８日(金)
13：30～14：30

ところ　健康センター

対　象　54年９月～10月生れの者

三種混合（破傷風・百日咳・ジフテリア）

と　き　５月13日(水)
14：00～15：00

ところ　健康センター

対象者　●１期（３回接種のこと）生後24ヵ月～48ヵ月の者
●２期（１回接種のこと）１期接種後12ヵ月～18ヵ月経過した後

妊 婦 検 診

と　き　５月14日(木)
９：30～11：30

ところ　健康センター

乳 児 検 診

と　き　14日(木)生後１～４ヵ月
21日(木)生後５～８ヵ月
28日(木)生後９～12ヵ月
13：30～15：00

ところ　健康センター

小児マヒ生ワクチン

と　き　５月19日(火)
14：00～15：00

ところ　健康センター

対象者　生後３ヵ月～18ヵ月の者（２回投与のこと）

発行　佐々町役場企画室(電話2－2101)　佐々町本田原免168の2(〒857－03)　印刷　(有)広川印刷